

重文記念ファイル 市内児童らに寄贈

高萩、長久保赤水顕彰会

高萩市出身で江戸時代の地理学者、長久保赤水（せきくわい）（1717～1801年）の功績を伝える長久保赤水顕彰会（佐川春久会長）は、赤水の関係資料が国の重要文化財に指定されたことを記念したクリアファイルを作成し、同市内の幼稚園や小学校の子どもたち約2千人に寄贈した。写真。

寄贈式が同市下手綱の松岡小学校で開かれ、佐川会



長と三浦邦明理事、大部勝規同市長のほか、いずれも6年の富田紗央莉さん、本田遥大さん、室谷汐南さん、関颯太さんが児童の代表として出席した。関さんは「緯度と方角線の入った日本地図を初めて作った赤水さんのように頑張りたい」とお礼の言葉を述べた。

同会は2種類のクリアファイルを各5千部作成。赤水が完成させた日本地図、業績を紹介する内容で、一般にも販売している。注文は2種1セット2000円、5セット以上で受け付ける。注文は佐川会長☎090（1846）6849。